

再発又は難治性の 成人T細胞白血病リンパ腫の治療で ハイスタ[®]錠を服用される患者さんへ

あなたがハイスタ[®]錠を飲む曜日

()曜日、()曜日

☐ 朝食後 ☐ 昼食後 ☐ 夕食後

1回に飲む量  錠

ハイヤスタ[®]錠の治療を始める患者さんへ

成人T細胞白血病リンパ腫(ATL)は、白血球の一種であるT細胞がウイルスに感染して長い時間をかけてがん化する病気です。ATLになるとリンパ節腫脹(腫れ)、皮膚病変(皮疹)、高カルシウム血症、肝臓や脾臓の腫れ、免疫力の低下などが起こります。

ハイヤスタ[®]錠は再発又は難治性のATLに対する治療薬で、HDAC阻害剤と呼ばれているお薬のひとつです。

この冊子は、再発又は難治性のATLという診断を受けて、ハイヤスタ[®]錠による治療を開始する患者さんやそのご家族に向けて、ハイヤスタ[®]錠の働きや服用の仕方、副作用についての理解を深めていただくためのものです。巻末には治療日誌をつけておりますので、患者さんの服薬の記録や体調管理にお役立ていただけたらと思います。

治療を始めるにあたって、不安なことやわからないことがありましたら、担当の医師、薬剤師、医療スタッフに遠慮なくご相談ください。

もくじ

● 成人T細胞白血病リンパ腫(ATL)とは	4
● ハイヤスタ [®] 錠について	5
● ハイヤスタ [®] 錠の服用方法	6
● 注意が必要な食品・飲料やお薬	6
● ハイヤスタ [®] 錠の服用に関するQ&A	7
● ハイヤスタ [®] 錠の副作用	8
● ハイヤスタ [®] 錠治療日誌	10

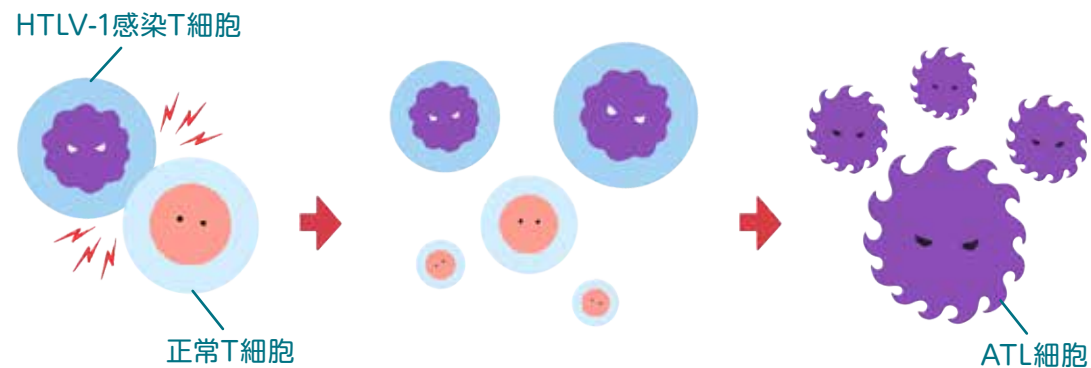
成人T細胞白血病リンパ腫(ATL)とは

成人T細胞白血病リンパ腫(ATL)は血液のがんの一種です。ヒトT細胞白血病ウイルス1型(HTLV-1)というウイルスに感染しているT細胞が、正常T細胞と接触することで感染を広げ、感染したT細胞ががん化しATL細胞となり増殖することで発症します。

HTLV-1感染者がATLを発症する確率はおおよそ5%(20人に1人の割合)^{1,2)}で、発症するまでには数十年かかる^{3,4)}といわれています。ほとんどの患者さんが40歳以上で発症しています⁴⁾。

ATLを発症すると、リンパ節腫脹(腫れ)、肝臓や脾臓の腫大(腫れ)、皮膚の発疹、高カルシウム血症、免疫低下による感染症などさまざまな症状がみられます。

ATLは九州・沖縄地方を中心にみられました^{1,2)}が、現在では大都市圏にも広がっています⁴⁾。



HTLV-1に感染したT細胞が正常T細胞に接触して感染

HTLV-1感染T細胞が徐々に増加

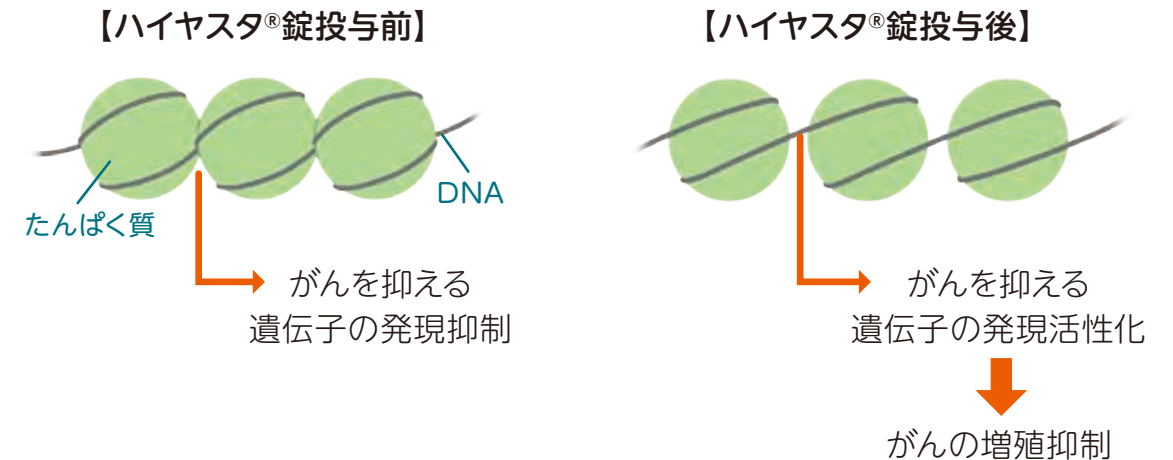
HTLV-1感染T細胞ががん化してATL細胞となり、増殖

【参考文献】

- 1) 日本血液学会: [造血器腫瘍診療ガイドライン(2018年版)] [第II章リンパ腫] [8 成人T細胞白血病・リンパ腫] http://www.jshem.or.jp/guidemali/2_8.html (accessed Jun 17, 2021)
- 2) 国立がん研究センター がん情報サービス: [成人T細胞白血病リンパ腫] <https://ganjoho.jp/public/cancer/ATL/index.html> (accessed Jun 17, 2021)
- 3) 平成22年度厚生労働科学特別研究事業 [ヒトT細胞白血病ウイルス-1型(HTLV-1)母子感染予防のための保健指導の標準化に関する研究]: [HTLV-1母子感染予防対策 保健指導マニュアル] [第1章～第2章] https://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/boshi-hoken16/dl/05_2.pdf (accessed Jun 17, 2021)
- 4) 平成22年度厚生労働科学特別研究事業 [ヒトT細胞白血病ウイルス-1型(HTLV-1)母子感染予防のための保健指導の標準化に関する研究]: [HTLV-1母子感染予防対策 保健指導マニュアル] [第3章～第9章] https://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/boshi-hoken16/dl/05_3.pdf (accessed Jun 17, 2021)

ハイスタ®錠について

ハイスタ®錠はHDAC (ヒストン脱アセチル化酵素)を阻害するお薬です。ヒストンと呼ばれるたんぱく質に巻きついているDNAをゆるめることで、がんを抑える遺伝子を活発にして、がんの増殖を抑制する働きをします。



次の項目に該当する方はハイスタ®錠を服用することができません。

- ☐ ハイスタ®錠に含まれる成分に過敏症がある方
- ☐ 妊娠している方、又は妊娠している可能性のある方

ハイスタ®錠の服用を始める前に、次の項目に該当する方は必ず医師、薬剤師、看護師にご相談ください。

- ☐ 骨髄の働きが大きく低下しており、赤血球、白血球や血小板などが少なくなっている方
- ☐ せきや息切れなどがみられる間質性肺疾患にかかったことのある方
- ☐ 感染症を合併している方
- ☐ 不整脈のある方、又は過去に不整脈があった方
- ☐ QT間隔延長又はその既往歴のある方
- ☐ 肝臓の機能が低下している方
- ☐ 授乳している方

ハイスタ®錠の服用方法

ハイスタ®錠は1日1回40 mg(ハイスタ®錠10 mgを4錠)を週2回、3又は4日間隔で食後に服用します。患者さんの状態によって、お薬の量を減らすことがあります。医師に指示された量を服用するようにしてください。

服用スケジュールの例

<パターン1>

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
服用	お休み	お休み	服用	お休み	お休み	お休み

<パターン2>

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
服用	お休み	お休み	お休み	服用	お休み	お休み

※ハイスタ®錠を服用するタイミングは担当の医師の指示に従ってください。

服用する際は、ハイスタ®錠をPTPシートから取り出し、十分な量(コップ一杯程度)の水又はぬるま湯と一緒に服用してください。

ハイスタ®錠は噛み砕いたりせずにそのまま服用してください。



注意が必要な食品・飲料やお薬

ハイスタ®錠を服用中、併用に注意が必要な食品・飲料やお薬があります。

ハイスタ®錠を服用している間、摂取を控えた方がよい食品・飲料

食品・飲料名	摂取による影響
グレープフルーツ含有食品(ジュース、ジャムなど)	・ハイスタ®錠の血中濃度が上昇し、作用が強くなる可能性があります

次のページのお薬による治療を受けている方、又はこれから治療を受けることを予定されている方は、医師、薬剤師、医療スタッフにご相談ください。

ハイスタ®錠を服用している間、併用に注意が必要なお薬

お薬の名前	お薬の主な作用	併用による影響
イトラコナゾール ボリコナゾール	カビ(真菌)に感染したときのお薬	・ハイスタ®錠の血中濃度が上昇し、作用が強くなる可能性があります
クラリスロマイシン	抗生物質	・ハイスタ®錠の血中濃度が上昇し、作用が強くなる可能性があります ・QT間隔延長(心臓の異常)が起こる可能性があります
抗不整脈薬 アミオダロン ジソピラミド プロカインアミド 等	不整脈の治療薬	・QT間隔延長(心臓の異常)が起こる可能性があります
モキシフロキサシン	抗菌薬	
ベプリジル	不整脈、狭心症の治療薬	

ハイスタ®錠の服用に関するQ&A

Q ハイスタ®錠を服用し忘れたときはどうすればいいですか？

A 次回の投与日に1回分のお薬を服用してください。また、飲み忘れがあった旨、医師や薬剤師、医療スタッフに報告してください。決して2回分のお薬を一度に服用しないでください。

Q ハイスタ®錠の服用量を間違えたときはどうすればいいですか？

A ただちに担当の医師や薬剤師、医療スタッフにご連絡ください。

Q 飲み忘れた分のハイスタ®錠が残っている場合は服用してもいいですか？

A 飲み忘れた分のハイスタ®錠が残っていてもご自身の判断で服用せず、次回診察時に持参して担当の医師や薬剤師、医療スタッフに相談してください。

ハイスタ[®]錠の副作用

ハイスタ[®]錠の服用によって、以下の症状があらわれるかもしれません。

- 副作用としてあらわれる症状や時期、程度などは患者さんごとに異なります。すべての症状がすべての患者さんに起こるわけではありません。症状があらわれても、自己判断で薬の服用をやめず、担当の医師、薬剤師、医療スタッフにご相談ください。

● 特に注意すべき副作用

発熱、せき、のどの痛み、寒気、頭痛、体のだるさ、皮膚の異常など

お薬により白血球の一種である好中球やリンパ球が減少して、細菌やウイルスに感染しやすくなります。
そのため、呼吸器感染症（ニューモシスチス肺炎、気管支炎など）、尿路感染症、皮膚感染症などの感染症を起こすことがあります。



めまいや立ちくらみ、動悸、息切れなど

貧血症状がみられることがあります。



血が止まりにくい、鼻血、歯ぐきからの出血、あざができやすい（下肢の点状出血など）

お薬により血小板が減少して、切り傷などから出た血が止まりにくくなったり、鼻血又は歯ぐきから出血したり、あざができやすくなったりします。



息切れ、せきなど

間質性肺疾患が起こることがあります。



動悸、息切れ、めまい、立ちくらみ、胸の痛みなど

不整脈が起こることがあります。



● その他の副作用

下痢

吐き気がする

だるい、疲れやすい

食欲がでない、ご飯が食べられない（食欲減退）

体重が落ちる（体重減少）

目や皮膚が黄色くなる、だるい、吐き気がするなど

肝機能障害がみられることがあります。

※初期は無症状のことが多いため、ちょっとした変化にも注意するようにしましょう。

味がいつもと違って感じる、味がよくわからない

味覚異常が起こることがあります。

発疹、赤い斑点、かゆみなど

皮膚障害がみられることがあります。





ハイスタ®錠は1日1回40 mg (ハイスタ®錠10 mgを4錠)を週2回、3又は4日間隔で食後に服用します。患者さんの状態によって、お薬の量を減らすことがあります。医師に指示された量を服用するようにしてください。

●ハイスタ®錠を服用中の体調を下記の表に記録して医師との面談の際に活用しましょう。

●何かいつもと違う症状があらわれたら、主治医や看護師、薬剤師に相談してください。

ハイスタ®錠を服用する予定日に○をつけましょう

	7 / 1	7 / 2	7 / 3	7 / 4	7 / 5	7 / 6	7 / 7
	水 曜日	金 曜日	土 曜日	日 曜日	月 曜日	火 曜日	水 曜日
服用予定日に○	○	—	—	—	○	—	
服用した日に○	○	—	—	—	○	—	
体温(℃)	36.5	36.6	36.6	36.6	36.5	36.5	
体重(kg)	63.5	63.4	63.2	63.4	63.4	63.2	
出血(部位)		鼻血					
発熱、寒気、頭痛		○	ハイスタ®錠をお休みする日でも記録するようにしましょう				
めまい、動悸、息切れ							
せき							
下痢			○				
吐き気							
だるさ、疲れ							
【メモ】 気になることがあったらメモしておきましょう	7/3 右腕にあざができた						

上の欄以外の症状がみられた場合、空欄に記入しましょう



ハイスタ®錠は1日1回40 mg (ハイスタ®錠10 mgを4錠)を週2回、3又は4日間隔で食後に服用します。患者さんの状態によって、お薬の量を減らすことがあります。医師に指示された量を服用するようにしてください。

●ハイスタ®錠を服用中の体調を下記の表に記録して医師との面談の際に活用しましょう。

●何かいつもと違う症状があらわれたら、主治医や看護師、薬剤師に相談してください。

第1週	/	/	/	/	/	/	/
	曜日	曜日	曜日	曜日	曜日	曜日	曜日
服用予定日に○							
服用した日に○							
体温(℃)							
体重(kg)							
出血(部位)							
発熱、寒気、頭痛							
めまい、動悸、息切れ							
せき							
下痢							
吐き気							
だるさ、疲れ							
【メモ】 気になることがあったらメモしておきましょう							

ハイスタ®錠治療日誌



ハイスタ®錠は1日1回40 mg (ハイスタ®錠10 mgを4錠)を週2回、3又は4日間隔で食後に服用します。患者さんの状態によって、お薬の量を減らすことがあります。医師に指示された量を服用するようにしてください。

- ハイスタ®錠を服用中の体調を下記の表に記録して医師との面談の際に活用しましょう。
- 何かいつもと違う症状があらわれたら、主治医や看護師、薬剤師に相談してください。

第2週	/	/	/	/	/	/	/
	曜日	曜日	曜日	曜日	曜日	曜日	曜日
服用予定日に○							
服用した日に○							
体温(℃)							
体重(kg)							
出血(部位)							
発熱、寒気、頭痛							
めまい、動悸、息切れ							
せき							
下痢							
吐き気							
だるさ、疲れ							
【メモ】 気になることがあったらメモしておきましょう							

ハイスタ®錠治療日誌



ハイスタ®錠は1日1回40 mg (ハイスタ®錠10 mgを4錠)を週2回、3又は4日間隔で食後に服用します。患者さんの状態によって、お薬の量を減らすことがあります。医師に指示された量を服用するようにしてください。

- ハイスタ®錠を服用中の体調を下記の表に記録して医師との面談の際に活用しましょう。
- 何かいつもと違う症状があらわれたら、主治医や看護師、薬剤師に相談してください。

第3週	/	/	/	/	/	/	/
	曜日	曜日	曜日	曜日	曜日	曜日	曜日
服用予定日に○							
服用した日に○							
体温(℃)							
体重(kg)							
出血(部位)							
発熱、寒気、頭痛							
めまい、動悸、息切れ							
せき							
下痢							
吐き気							
だるさ、疲れ							
【メモ】 気になることがあったらメモしておきましょう							

ハイスタ®錠治療日誌



ハイスタ®錠は1日1回40 mg (ハイスタ®錠10 mgを4錠)を週2回、3又は4日間隔で食後に服用します。患者さんの状態によって、お薬の量を減らすことがあります。医師に指示された量を服用するようにしてください。

- ハイスタ®錠を服用中の体調を下記の表に記録して医師との面談の際に活用しましょう。
- 何かいつもと違う症状があらわれたら、主治医や看護師、薬剤師に相談してください。

第4週	/	/	/	/	/	/	/
	曜日	曜日	曜日	曜日	曜日	曜日	曜日
服用予定日に○							
服用した日に○							
体温(℃)							
体重(kg)							
出血(部位)							
発熱、寒気、頭痛							
めまい、動悸、息切れ							
せき							
下痢							
吐き気							
だるさ、疲れ							
【メモ】 気になることがあったらメモしておきましょう							

ハイスタ®錠治療日誌



ハイスタ®錠は1日1回40 mg (ハイスタ®錠10 mgを4錠)を週2回、3又は4日間隔で食後に服用します。患者さんの状態によって、お薬の量を減らすことがあります。医師に指示された量を服用するようにしてください。

- ハイスタ®錠を服用中の体調を下記の表に記録して医師との面談の際に活用しましょう。
- 何かいつもと違う症状があらわれたら、主治医や看護師、薬剤師に相談してください。

第5週	/	/	/	/	/	/	/
	曜日	曜日	曜日	曜日	曜日	曜日	曜日
服用予定日に○							
服用した日に○							
体温(℃)							
体重(kg)							
出血(部位)							
発熱、寒気、頭痛							
めまい、動悸、息切れ							
せき							
下痢							
吐き気							
だるさ、疲れ							
【メモ】 気になることがあったらメモしておきましょう							

ハイスタ®錠治療日誌



ハイスタ®錠は1日1回40 mg (ハイスタ®錠10 mgを4錠)を週2回、3又は4日間隔で食後に服用します。患者さんの状態によって、お薬の量を減らすことがあります。医師に指示された量を服用するようにしてください。

- ハイスタ®錠を服用中の体調を下記の表に記録して医師との面談の際に活用しましょう。
- 何かいつもと違う症状があらわれたら、主治医や看護師、薬剤師に相談してください。

第6週	/	/	/	/	/	/	/
	曜日	曜日	曜日	曜日	曜日	曜日	曜日
服用予定日に○							
服用した日に○							
体温(℃)							
体重(kg)							
出血(部位)							
発熱、寒気、頭痛							
めまい、動悸、息切れ							
せき							
下痢							
吐き気							
だるさ、疲れ							
【メモ】 気になることがあったらメモしておきましょう							

ハイスタ®錠治療日誌



ハイスタ®錠は1日1回40 mg (ハイスタ®錠10 mgを4錠)を週2回、3又は4日間隔で食後に服用します。患者さんの状態によって、お薬の量を減らすことがあります。医師に指示された量を服用するようにしてください。

- ハイスタ®錠を服用中の体調を下記の表に記録して医師との面談の際に活用しましょう。
- 何かいつもと違う症状があらわれたら、主治医や看護師、薬剤師に相談してください。

第7週	/	/	/	/	/	/	/
	曜日	曜日	曜日	曜日	曜日	曜日	曜日
服用予定日に○							
服用した日に○							
体温(℃)							
体重(kg)							
出血(部位)							
発熱、寒気、頭痛							
めまい、動悸、息切れ							
せき							
下痢							
吐き気							
だるさ、疲れ							
【メモ】 気になることがあったらメモしておきましょう							

ハイスタ®錠治療日誌



ハイスタ®錠は1日1回40 mg (ハイスタ®錠10 mgを4錠)を週2回、3又は4日間隔で食後に服用します。患者さんの状態によって、お薬の量を減らすことがあります。医師に指示された量を服用するようにしてください。

- ハイスタ®錠を服用中の体調を下記の表に記録して医師との面談の際に活用しましょう。
- 何かいつもと違う症状があらわれたら、主治医や看護師、薬剤師に相談してください。

第8週	/	/	/	/	/	/	/
	曜日	曜日	曜日	曜日	曜日	曜日	曜日
服用予定日に○							
服用した日に○							
体温(℃)							
体重(kg)							
出血(部位)							
発熱、寒気、頭痛							
めまい、動悸、息切れ							
せき							
下痢							
吐き気							
だるさ、疲れ							
【メモ】 気になることがあったらメモしておきましょう							

ハイスタ®錠治療日誌



ハイスタ®錠は1日1回40 mg (ハイスタ®錠10 mgを4錠)を週2回、3又は4日間隔で食後に服用します。患者さんの状態によって、お薬の量を減らすことがあります。医師に指示された量を服用するようにしてください。

- ハイスタ®錠を服用中の体調を下記の表に記録して医師との面談の際に活用しましょう。
- 何かいつもと違う症状があらわれたら、主治医や看護師、薬剤師に相談してください。

第9週	/	/	/	/	/	/	/
	曜日	曜日	曜日	曜日	曜日	曜日	曜日
服用予定日に○							
服用した日に○							
体温(℃)							
体重(kg)							
出血(部位)							
発熱、寒気、頭痛							
めまい、動悸、息切れ							
せき							
下痢							
吐き気							
だるさ、疲れ							
【メモ】 気になることがあったらメモしておきましょう							

ハイスタ®錠治療日誌



ハイスタ®錠は1日1回40 mg (ハイスタ®錠10 mgを4錠)を週2回、3又は4日間隔で食後に服用します。患者さんの状態によって、お薬の量を減らすことがあります。医師に指示された量を服用するようにしてください。

- ハイスタ®錠を服用中の体調を下記の表に記録して医師との面談の際に活用しましょう。
- 何かいつもと違う症状があらわれたら、主治医や看護師、薬剤師に相談してください。

第10週	/	/	/	/	/	/	/
	曜日	曜日	曜日	曜日	曜日	曜日	曜日
服用予定日に○							
服用した日に○							
体温(℃)							
体重(kg)							
出血(部位)							
発熱、寒気、頭痛							
めまい、動悸、息切れ							
せき							
下痢							
吐き気							
だるさ、疲れ							
【メモ】 気になることがあったらメモしておきましょう							

ハイスタ®錠治療日誌



ハイスタ®錠は1日1回40 mg (ハイスタ®錠10 mgを4錠)を週2回、3又は4日間隔で食後に服用します。患者さんの状態によって、お薬の量を減らすことがあります。医師に指示された量を服用するようにしてください。

- ハイスタ®錠を服用中の体調を下記の表に記録して医師との面談の際に活用しましょう。
- 何かいつもと違う症状があらわれたら、主治医や看護師、薬剤師に相談してください。

第11週	/	/	/	/	/	/	/
	曜日	曜日	曜日	曜日	曜日	曜日	曜日
服用予定日に○							
服用した日に○							
体温(℃)							
体重(kg)							
出血(部位)							
発熱、寒気、頭痛							
めまい、動悸、息切れ							
せき							
下痢							
吐き気							
だるさ、疲れ							
【メモ】 気になることがあったらメモしておきましょう							

- ハイスタ®錠を服用中の体調を下記の表に記録して医師との面談の際に活用しましょう。
- 何かいつもと違う症状があらわれたら、主治医や看護師、薬剤師に相談してください。

第12週	/	/	/	/	/	/	/
	曜日	曜日	曜日	曜日	曜日	曜日	曜日
服用予定日に○							
服用した日に○							
体温(℃)							
体重(kg)							
出血(部位)							
発熱、寒気、 頭痛							
めまい、動悸、 息切れ							
せき							
下痢							
吐き気							
だるさ、疲れ							
【メモ】 気になることが あったらメモし ておきましょう							

医療機関名

担当医師名

電話番号
